

校名	府立東淀川支援学校
校長名	芥川 豊和

開催日時	令和4年 11月17日(木) 10:00~12:00
開催場所	大阪府立東淀川支援学校 図書室
出席者(委員)	鈴木委員(本会の会長)・栢木谷委員・藤澤委員・島田委員 (欠席:寺田委員・久米委員)
出席者(学校)	芥川校長・北條教頭・岡崎教頭・加藤事務長・林首席・池田首席
傍聴者	なし
協議資料	次第、令和4年度学校経営計画、令和4年度学校教育自己診断について、進路研修会資料(小学部教員研修用)、令和5年度使用教科用図書(選定・採択)一覧表

議事等(次第順)	
学校経営計画に関する進捗状況について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
	【令和4年度学校経営計画の進捗状況について】
校長	・令和4年度学校経営計画の進捗状況についての説明 「めざす学校像」を踏まえ中期の目標4項目あり、概ね計画通り進んでいる。
会長	令和4年度学校経営計画の進捗状況についてのご意見・協議等をお願いします。
委員	大学と連携しているというタブレットには特別なアプリが入っているのか。
校長	大学のタブレットをお借りして、授業で活用している。
会長	大学からタブレットを貸し出ししている。アプリについては、事前に支援学校に聞いて必要なアプリを入れ、それを授業で活用してもらおうようにしているが、児童生徒の様子などを伺いながらどのようなのが効果的なのか一緒に考える予定である。また、マイクを用いて、タブレットを1つのコミュニケーションツールとして何かできないか現在研究中である。
委員	アンガーマネジメントの研修をしたとのことだが、カットとなるような場面があるのか。
校長	子どもたちの突発的な動きに対して、しっかりとした理念を持った上で対応することなどをテーマに研修を行ったので必ずしも教員がすぐカットとなるということではない。
会長	私がかつと支援学校の教員だったので、アンガーマネジメント研修と聞くと違和感があるが、先生方がいきなり感情的に怒るということはないと思うので、この研修は、感情の持ち方や生徒対応など幅広い研修だったのではないかと思う。
校長	昨年度まではコロナで学校の行事がなかなかできずにいたが、今年度は昨年度よりも学校行事が形を変えながらできるようになってきた。
委員	今年度は私の勤めている学校でも学校行事が復活してきたが、改めて子どもたちにとっての行事の影響を痛感した。子どもたちは経験をもとに生きているので、経験を積むためには行事は非常に重要。また子どもたちと行事をつくりあげていくことを通して、子どもたち同士や子どもたちと教員の信頼関係を築くことにつながっている。
委員	マスクで口元が見えないことで、子どもたちの成長に影響を及ぼすのではないかという懸念をもっている。
校長	マスクの着用については大阪府教育委員会の指示にしたがっているが、マスクをすることで表情を読むことが難しくなっている部分があるとは聞いている。
委員	防災備品についてヘルメットの普及について、PTAと防災担当首席が意見交換を防災についての行

	った際、児童生徒用だけでなく教職員用のヘルメットがないという話になった。本校の児童生徒は自分たちで避難できないので、教職員の分も含めて準備が必要なのではないか。
校長	本校には防災用ヘルメットが数個しかないので、全校児童生徒および教職員のためのものを用意していくことが、防災における本校の課題の一つであると考えている。児童生徒がヘルメットを被って避難すること等、「身を守ること」について今後も引き続き考えていきたい。
会長	学校運営協議会でヘルメット等の身を守る物についての要望が委員からあったということを知っていただきたい。
委員	地域支援を進めているとあるが、どのような支援要請があるのか。
校長	児童生徒との関わり方や、授業の進め方などについての支援要請がある。
委員	地域の学校の若手の教員が、授業の進め方や支援学級の児童生徒対応に悩んでいると聞くので、そういう取り組みはいいと思う。事業所運営を通じて地域の小中学校の先生方と話す機会があり、支援学校の授業等を見学し、参考にさせてもらうことを勧めている。
委員	コロナで昨年度行えなかったが、今年度行えた給食試食会などのような、保護者が学校に来る行事は学校を理解する為に大切だと思う。給食試食会では味は好評だった。量については様々な意見があった。
教頭	給食はカロリー計算されていて、各学部一食に必要なカロリー計算をされた量を提供されている。
委員	地域交流というものは小学部のみが行っているのか。
校長	中学部や高等部でも行っている。中学部は10月に淡路中学校と交流会を行い、吹奏楽部に来ていただいて演奏を聴いた。
教頭	中島中学校とも12月に交流を行う予定で、また小学部・中学部ともに居住地校交流を行っている。
首席	高等部では12月に柴島高校の自立支援コースの生徒と授業交流を行い、本校の生徒と自立支援コースの生徒と一緒に授業を受ける予定をしている。 地域連携会議を通じて交流行事を盛んに行っている。12月には地域の学校の先生方に来校していただき、高等部の授業見学や支援方法についての取り組み、さらに高等部卒業後の進路について説明させていただく予定をしている。
会長	東淀川支援学校では地域連携会議が大きな役割を果たしていると聞いている。
校長	支援学校として、地域のセンター的機能をはたしている。例えばリーディングスタッフによる地域の学校への訪問支援や個別のケース会議への参加等様々なかたちで、地域支援に取り組んでいる。
会長	支援学校では学校行事によって落ち着かなくなる児童生徒がいることも実態としてある。
委員	行事ではそうした部分も含めて児童生徒の様子を保護者に見てもらうことも必要だと思う。
会長	新型コロナウイルス感染症をきっかけに行事のあり方を見直したり変えたりして実施している支援学校もあるようだ。今までのやり方通りに行事を行うことが全て望ましいわけではなく、状況によって変えていくことも必要ではないか。
委員	今年もむくのき学園の5年生がユニバーサルデザインの授業で東淀川支援学校と交流を行ったが、保護者からは交流学习の後は成長が見られると好評だ。また、むくのき学園の支援学級担任が東淀川支援学校の教員と一緒に研修を行う機会があっても良いと思う。
会長	熱心な議論と、さまざまなお意見をいただきありがとうございます。
校長	第3回では「学校経営計画」および「学校評価」へのご意見をいただきたい。

次回の会議日程	
日時	令和5年2月17日(金)(予定)
会場	大阪府立東淀川支援学校